9月議会での自民党会派質問

リニア新幹線奈良駅の誘致推進状況は？

【問】→本年5月、安倍総理はリニア中央新幹線大阪延伸の時期を最大8年（平成49年）前倒しを表明し、更にJR東海は奈良市付近を通るルートの方針を改めて示されたが、奈良市の取組み状況は如何に？

【答】→奈良市リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議で採択をし奈良市への中間駅設置などを求める要望書と決議書を2月に荒井知事に渡しました。

リニア新幹線視察（山梨県）　8月4日

た。奈良市は昭和54年のこの期成同盟会設立当初より副会長として費用負担も最も多く、中心的な役割を担っています事から市内への中間駅設置の実現に向けて県との連携強化が極めて重要と考えております。

【主張】→自民党会派議員で中間駅が決定している、岐阜県中津川市、神奈川県相模原市、山梨実験センターの視察をして誘致の取り組みや、まちづくりの整備計画等を伺いましたが、中間駅設置の実現には、やはり国・県との連携が最重要であると答えを得ましたので、その対応を要望しておきます。

交付金は内示率は中核市30市で最下位

【問】社会資本整備総合交付金は地域の活性化等につながる事業とインフラ整備や防災・安全対策等に使え、厳しい財政状況の中でこの交付金は重要となっています。その交付金要求額に対して内示額の充当率は、中核市30市の中で、奈良市は平成28年度と27年度は最下位、26年度は21番目です。そこで、28年度の交付金の要求額41億円のうち、3月議会で議決をした予算額に対する内示額は幾らですか？また交付金獲得のために、国に対して市長はどのような働きかけをしてきたのか？

【答】議決の事業予算は25億円で公布金額は10億円（40％）です。国へのお願いは県が場を設けた場合は市長か副市長が対応、国交省には副市長か次長が出向いています。

【主張】28年度の議決事業25億円の内交付金が10億円では、市民サービスに影響が出るのは必至。市長は交付金獲得に真剣に努力しているのか疑問である。市長は関係省庁や国会議員に直接陳情に行くべきであると指摘しておきます。《後記》11月1日に保守系議員団で、オリパラ・奈良少年刑務所活用の研修と交付金確保に参議院議員会館の「佐藤啓」氏と「堀井巌」氏を訪問しました。

参議院の堀井巌・山田宏・佐藤啓議員を訪問

12月議会、新火葬場の補正予算が可決

総費用が不明のまま進んで良いのか？

奈良市新火葬場建設計画（横井町山林）について、橋梁の設計等の補正予算8200万円が（自民・未来等＝17）対（民進・公明・共産等＝20）で可決となりました。そこで、この計画の問題点（反対理由）を説明致します。

①、予算が高額すぎると仲川市長本人がH21年に横井町山林を廃案とした事。理由はH17年の計画では44億円だったが、54億円と高額化した事。更に、地元への還元事業が38項目（新設道路や拡幅工事等）の概算金額も未公開（推測20億円以上？）更に大規模敷地（5ha＝甲子園球場の約1.3倍）の山を崩し、急傾斜の谷を埋めて大規模な橋梁を建設する事から実際には追加々の莫大な工事費と毎年の維持管理費が必用ではとの懸念。

②地元住民が自然災害と風評被害から強く反対しており合意が得られない。地元を中心に建設反対2000名の署名。建設反対の請願7件が地元3町から議会に出され既に2件が可決している。

③他の候補地が24ヶ所（市有地10ヶ所）もある。新火葬場建設候補地の橋梁「入り口は白毫寺町」に建設予定であることから、現火葬場が100年間も白毫寺町にあるのに、次の100年間もこの近くに建設する事に反対されている。

④別の候補地として議会側有志のアイディア（対案）は、横井町山林よりも、遥かに安価で安全で、アクセスが良い事は明白であり、地元の一定の理解も得られている企画書も準備はされているが、仲川市長は同時に複数の候補地を「検討」はしないと発言しており独善強硬姿勢である。

●【主張】所謂嫌悪施設と呼ばれる施設には「総論賛成・各論反対」となりがちである。「火葬場は早く建設して欲しいが自分の近所は嫌だ」である。次の100年間も同じ地域周辺に建設するような無神経な行政運営は仲川市政の愚行と言わざるを得ない。早く安価な場所へ方向転換が必用！

奈良日日新聞
12/23▶12/31
独善市政 行く末は
「地元合意 得ずの可決」
「都市計画決定」影響か

奈良日日新聞　12月23日